

科目名	地域と文学	備考	
単位数	2 単位	授業形態	講義

長 尾 建

《文学における〈トポス〉》

1. 授業内容

文学は決して作者の想像力のみによって成立するわけではありません。文学作品はそれが成立した地域の風土や文化、歴史を色濃く反映させています。この講義では、そのような象徴的な意味の場＝〈トポス〉に着目して、文学作品を読解していきます。

このような意図から、四つの作品を取り上げます。最初は安西冬衛の「冬」です。これは戦前の日本の植民都市、大連が舞台です。〈異郷〉大連で成立した作品は、どのような〈トポス〉性を持っているのでしょうか？二つ目が室生犀星の「小景異情」です。ここでは〈故郷と東京〉がテーマです。三つ目は大田洋子「半人間」。原爆被爆者のその後とはどのようなものだったのでしょうか？最後が大城立裕「カクテル・パーティー」です。占領下沖縄のアメリカ人と日本人の不平等な関係が暴露されています。

文学を通じて、地域の現状と歴史を考えましょう。

2. 到達目標

(1) まず、基礎的な力として、テキストを正確に読む〈読解力〉を身につけます。また、それぞれの地域がどのような文化や歴史を持ち、それが現代にどのように接続しているかを知る〈常識力〉を磨きます。さらに、自分と異なる地域の人々、つまり〈他者〉の文化や価値観を知るといふ〈理解力〉を養成し、〈他者〉を鏡としてそこから得られる自己分析力、反省力＝〈主体性〉を養います。

(2) その上で、〈他者〉の価値観を含めた総合的な〈論理的・多面的思考力〉の涵養を目指します。

3. 到達目標となる駿大社会人基礎力/養成する能力要素（スポーツ科学部）

読解力、常識力、理解力、論理的・多面的思考力、主体性

4. 卒業認定・学位授与方針との関連

駿河台大学の「1. ディプロマ・ポリシー」の「(1) 基礎的な力」における「文章を適切に読み解く」と、「(2) 考える力」における「さまざまな角度から物事をみつめ、広い視野から筋道を立てて考える」に関連しています。

5. 関連科目

文学Ⅰ

文学Ⅱ

現代と文学／文学 Today

異文化と文学

6. テキスト・参考書等

基本的にこちらで用意します。

7. 授業外における学習方法及び必要な時間

テキストを複数回繰り返し読んできてください（1.5 時間）。
 前回の授業内容について振り返ってください（1.5 時間）。
 前回扱った地域の文化や歴史について、メディアセンターで調べてください（1 時間）。

8. 成績評価方法

評価種別	割合 (%)	成績評価基準・その他備考
授業への取組	30%	到達目標（1）（2）を確認するために、〈理解力〉〈常識力〉〈主体性〉〈論理的・多面的思考力〉が身につけているか評価します。
学期末テスト（ないしはレポート）	70%	到達目標（1）（2）を確認するために、〈理解力〉〈常識力〉〈主体性〉〈論理的・多面的思考力〉が身につけているか評価します。

9. 課題に対するフィードバックの方法

授業において数度リアクションペーパーの提出を課します。
 リアクションペーパーの内容については、代表的なものについて、その後の授業で取り上げ、コメントします。

10. 実務経験のある教員による授業科目等

担当教員の実務経験：
 実践的な教育の取組：

11. 授業計画

第1回	イントロダクション
第2回	安西冬衛「冬」について（1） 大連というトポス
第3回	安西冬衛「冬」について（2） 文学における想像力
第4回	安西冬衛「冬」について（3） 「異郷」と文学
第5回	室生犀星「小景異情」について（1） 「故郷」と「東京」
第6回	室生犀星「小景異情」について（2） 初出時の「故郷」への認識
第7回	室生犀星「小景異情」について（3） 現行テキストにおける「故郷」への認識
第8回	大田洋子「半人間」について（1） 被爆地「広島」の文学
第9回	大田洋子「半人間」について（2） 文学と政治
第10回	大田洋子「半人間」について（3） 被爆者のその後
第11回	大城立裕「カクテル・パーティー」について（1） 占領下「沖縄」の現実
第12回	大城立裕「カクテル・パーティー」について（2） 差別の連鎖
第13回	大城立裕「カクテル・パーティー」について（3） 現在この小説を読む意義
第14回	地域と文学・振り返り
第15回	まとめ